

# 地域ビジネス 創造セミナー

地域に根差したビジネスの創造・地域おこしの仲間を集めるため、地域おこし協力隊の小林隊員が中心となり開催。セミナーは令和3年11月19日、11月26日、12月3日の合計3日間、津軽河岸あと広場 石の蔵において、講座・ワークショップ形式で開催され、63人の方が参加されました。



## 潮来市 地域おこし協力隊

地域ビジネス創造セミナー企画・運営

こばやし まさひで  
**小林 正英** 隊員



北海道札幌市出身。2020年10月まで、北海道長沼町役場に務める。同年11月から潮来市で地域おこし協力隊として活動。潮来高校と筑波大学の地域連携事業に携わる。現在は地域おこしの仲間を探している。

## 筑波大学

システム情報系 教授

おおさわ よしあき  
**大澤 義明** 教授



青森県三沢市出身。「IoTと都市計画」「地方創生」等をキーワードに社会システム工学や都市計画等の分野で活躍。潮来市第7次総合計画では審議会会長を務め、潮来市と親交が深い。

## (株)えぼっく

代表取締役社長  
元茨城県地域おこし協力隊

わかまつ ゆうき  
**若松 佑樹** 氏



2014年、茨城県の「地域おこし協力隊」インターンシップコーディネーターに就任。3年の任期満了後、「株式会社えぼっく」を立ち上げ、企業のコンサルティングや企業と学生のマッチング等を手掛ける。

## (株)日本能率協会 マネジメントセンター

新事業開発部 新事業開発室

ふちがみ こうへい  
**渚上 耕平** 氏



企業人材が地域事業家と社会課題の解決に取り組み、事業家マインドを育むことを目指した「ことらぼ」をプロデュース。観光庁「新たな旅のスタイル」促進事業アドバイザー。



## 市民の皆さんと 地域おこしを

——セミナー開催の経緯・  
思いを教えてください。

**小林** これまで、潮来市の地域おこし協力隊として高大連携事業をはじめ、行方交流圏の活動や「潮来働きナビ」での就労支援など様々な活動をしてきました。活動の成否にかかわらず、「もっといい方法があったのではないか」「地域のためになっているのかな」という思いがありました。

そんな折、今年の七月に地域おこし協力隊活動報告会を行ったのですが、その際に読んだ参考書のすべてに「地域おこしには仲間が必要」と書いてあり、衝撃を受けました。というのも、僕自身、大学生のころからビジネスや企業について学んでいたこともあり、「地域おこし」も一人でできると考え

ていたのです。それ以来、「仲間がいればもっと良いことができるかもしれない」と強く思うようになり、今回のセミナーを企画しました。

「地域ビジネス創造セミナー」への思いとしては、「一緒に潮来を盛り上げてくれる仲間を作りたい」というのが一番の思いです。

今後もうこういった企画を通して仲間づくりをし、地域おこしをしていければと思います。



## これからのまちづくりを予測する ～若い世代が牽引するデジタル田園都市～

大澤 義明 教授。

### ◇地方の都市計画と若者の力

地方の都市計画において、人口が減るとその分行政コストが増加することがデータ分析から分かっています。人口減少が見込まれる地域では行政コスト軽減のために、最新技術を用いた施策を都市計画に取り入れなければなりません。その際、施策はデータ分析・効果測定を行い、「やりっぱなし」にしないことが重要です。また、同時に若い人が中心となって意見を出していけるような環境を整備し、自由な意見が出せる環境づくりをすることで地域全体の活性化が図れると考えています。



## 住んでいる地域の魅力を発見 ～地元の魅力をビジネスにする方法～

若松 佑樹 氏。

### ◇若い力をビジネスに

スキルや経験がなくても、積極的に熱意をもって行動する若者がいると、それを助けようと地域の人が集まって地域全体が活性化する事例をたくさん見てきました。地域全体の活性化のためには地域ビジネス・活動に若い力を取り入れることが大切だと思います。地域に若い人がいないという場合には、外部の若い力を導入するのも良いと思います。今回のセミナーでは、私が地域に外から若い力を導入し、地域活性化に繋がった例を挙げながら、外部の力を利用したビジネスモデルを考えてみました。



## 外の企業にとっての地域の魅力 ～企業ニーズを掘り起こす、地域ならではのプログラム造成～

渕上 耕平 氏。

### ◇企業が注目するラーニングワーケーション

企業と地域を繋ぎ、その地域ならではの体験を学びのプログラムに組み立てる「越境学習～ラーニングワーケーション～」に取り組んでいます。地方創生、働き方改革、DXなど、現在の日本には誰もが経験したことのない困難な課題が山積んでいます。この難題に立ち向かうことができる人材の育成に役立ちたい、という思いがありました。今回のセミナーでは、地方を企業の研修の舞台とすることで人を呼び込むビジネスモデルをご紹介します。



なかやま あい  
中山 愛さん  
潮来市在住。現在は、千葉県の会社でWebデザイン・プログラミング関連の仕事に就いている。

中山 もともと、まちづくりに興味はありました。しかし、一人では思った活動が出来ないと考えていたところ、偶然、地域おこし協力隊のインスタグラムを見てセミナー参加を決めました。「地域ビジネス創造セミナー」ということで、参加者は年上の方が多いのかなと思っていましたが、同年代の方も沢山の人が参加して、驚きました。将来的には潮来で起業できればと思っていますので、このようなセミナー等があります。

セミナーに参加していただいたお二人から、感想等のお話を伺いました。

—— 今回のセミナーに参加したきっかけを教えてください。





橋本 裕基さん  
 主事として活躍。朝来市商工会青年部で事務を認め、認定こども園慈母学園で主任として活躍。

**橋本** 私は、商工会青年部に所属し、地域活性化に関わっています。セミナーで、地域ビジネスについて何か学べればと思い参加しました。また、協力隊の小林隊員とは以前、ろ舟の漕ぎ手をしていた時に面識があり、彼の企画した事業ということもセミナー参加のきっかけとなりました。

——特に印象に残った事を教えてください。

**橋本** 私は、特に若松さんのお話と二日目のワークショップが印象に残りました。自分がいる地域の魅力は内側からはなかなか気づけないこともあります。そういった魅力に気づき、潮来を盛り上げて行ければと思っています。ワークショップでは、皆さんと様々なアイデアを出しあいました。いろいろな意見を聞けて新鮮でしたし、その中で出た案で、音楽と食を組み合わせた

たフェス形式のイベントは是非実現したいと思っています。

また、若い力を導入する事が大事だとの話を聞いて、僕たち若い世代が地域活性化に対してできることを改めて考えるきっかけになりました。

**中山** 私は、参加者でアイデアを出し合うワークショップが印象に残っています。自分と同じような考えを持っている人が地域にいることが分かったし、出てきたアイデアはどれも面白く、魅力的でした。

皆さんそれぞれが色々なスキルを持っていて、挑戦したいことがある。それをまとめることができれば何らかの活動ができるような手ごたえを感じました。

——本セミナーに参加した感想・「地域おこし」について

**中山** 新しいビジネスモデル、若い力の導入等、講師の先生のお話とても勉強になりました。ワークショップ等の活動では、地域の活性化に積極的な方と関わり、新しい人脈形成の機会になりました。このような機会がまたあれば、是非参加したいと思っています。また、「地域おこし」について

も考えることができました。地域のために、やりたい事があっても一人ではなかなかスタート出来ません。行動を起こすにはやはり沢山の力が必要なんだなと感じました。

**橋本** 講義からは学べる事が多く、とても有意義なセミナーだったと思います。また、参加した皆さんは地域の活性化に熱意がある人が多く、結ばれたご縁は大事にしたいと思っています。

「地域おこし」については、魅力あるまちづくりをめざすという点で、私の所属している商工会青年部の活動と通じることも多いと感じました。



良い学びの機会でもあるので、今後もこういったセミナー等には積極的に参加したいですね。

——「地域おこし」の仲間募集について

**中山** 小林隊員のおかげで、地域の方との接点ができたので、今後このような活動には積極的に関わって行きたいと思っています。

**橋本** 私も、潮来市を盛り上げていこうと思っている一人ですので、潮来を活気づけるイベント等に関わっていきたいと思います。

## セミナーを終えて

12月から新しい隊員を迎え、2人体制となった地域おこし協力隊。今後もイベントや地域の魅力発信など様々なことに挑戦していきます。

僕たちの活動に加わってもらったり、皆さんの活動に参加させてもらったりして、皆さんと一緒に地域を盛り上げたいと思います。

いきなり一緒に活動は...という方も、まずは僕たちを知ってもらい、それから徐々に一緒に活動できればと考えています。地域おこし協力隊の僕たちと潮来市の皆さんが互いに助け合い、活動できる。それを目標に今後も頑張っていきたいと思っています。

(地域おこし協力隊 小林)